R8.10.26説明資料

令和８年度

岡山県真庭保健所運営協議会

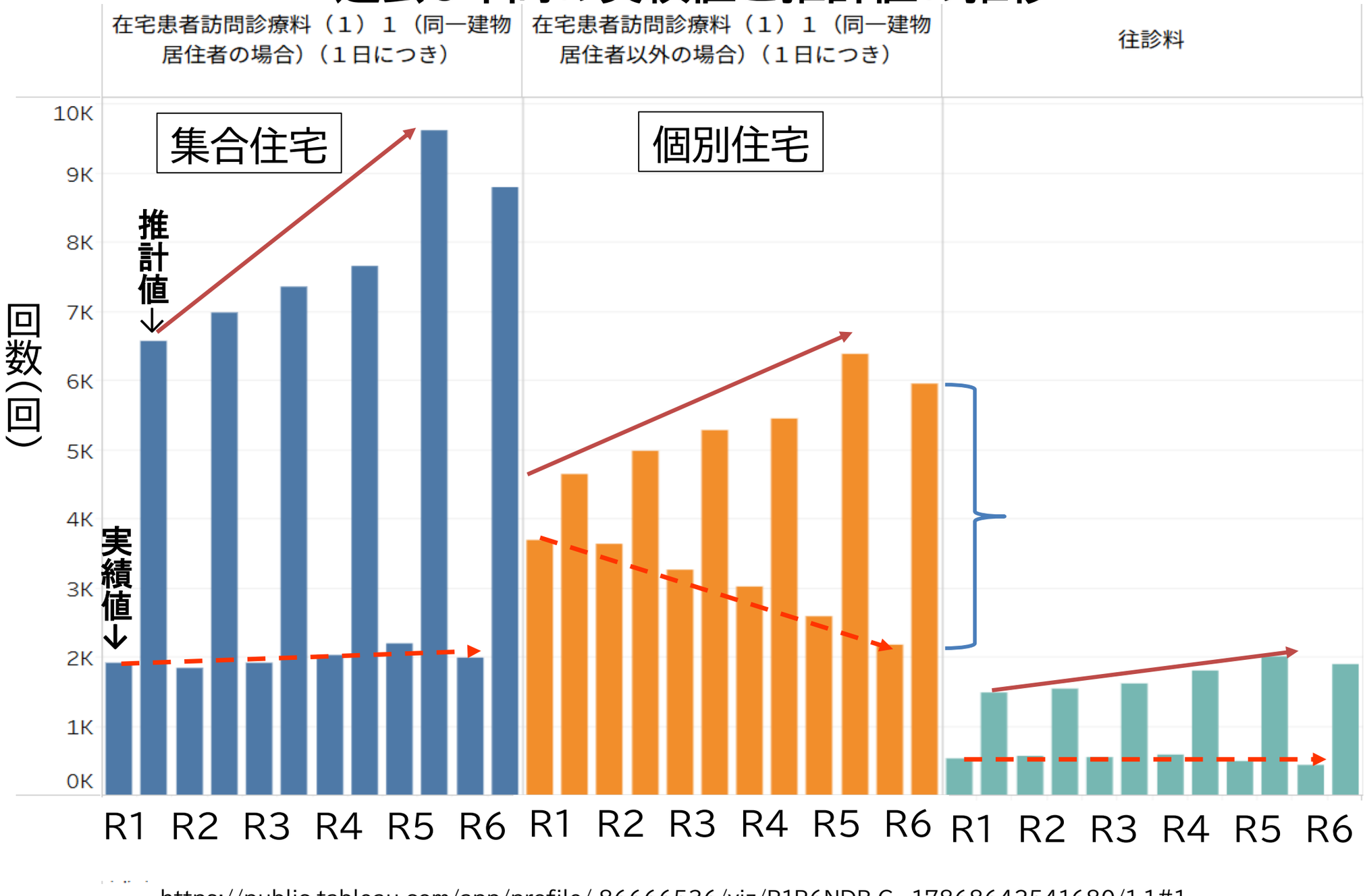
岡山県真庭保健所

令和８年度真庭保健所の主要施策

１　地域における医療提供体制の整備
２　子育て支援・少子化対策の推進
３　健康づくりの推進
４　障害のある人の自立と社会参加の促進
５　感染症対策
６　健康危機管理対策
７　安全・安心な生活衛生の推進

＜R8年度 真庭保健所作成＞

【在宅医療】R1～R6 NDB　真庭圏域の訪問診療・往診回数 過去6年間の実績値と推計値の推移



https://public.tableau.com/app/profile/.86666536/viz/R1R6NDB_C_17868642541680/1_1#1

１　地域における医療提供体制の整備

真庭保健所の重点的な取り組み

「在宅医療」に対する支援

＜課　題＞

在宅医療に関しては、需要は増大しているが、供給は減少している。

＜具体的な支援策＞

・財政的支援に関する情報提供
・第三の解決法、仕組みの提案
　例：ICTを使った遠隔医療
　　オンライン診療、在宅患者の遠隔モニタリング（リモートペイシェントモニタリング）等）導入のためのアイデア提供など

２　子育て支援・少子化対策の推進

生まれてくる一人ひとりがより健康に育つことと、妊娠・出産を含めた将来のライフプラン全体を考えることの両方の視点が必要

→ **<u>中高生向け「未来のパパ＆ママを育てる出前講座」</u>**
プレコンセプションケア（将来の妊娠・出産に備え、若いうちから自分の健康を考える取り組み）の啓発

＊女性は加齢で妊孕性(妊娠のしやすさ)は低下し、流産・染色体異常は増加

＊男性は加齢で妊孕性低下・流産・自閉症のリスクが上昇

3　健康づくりの推進

●愛育委員・栄養委員

各地で担い手の確保や活動の進め方が難しくなってきている

・共働きや定年延長などで就労する方が増えてきた
・地域活動への関わり方についての価値観が変わってきた

・支える行政担当者も、組織の成り立ち・意義を学ぶ機会が十分でない可能性

→ 組織を育てる側の力を高める

・目的・進め方を整理して計画する力の習得
（プロジェクトマネジメント手法）
・県研修会・担当者連絡会での話し合い

３　健康づくりの推進

●歯科保健対策

　歯周疾患が、全身の疾患、特に、認知症・心筋梗塞・脳梗塞・早産や低出生体重児の発生に影響

→ 口腔ケアによる誤嚥性肺炎予防 及び
　上記各種疾患の予防啓発にも取り組む。

４　障害のある人の自立と社会参加の促進

●精神保健対策

・対応困難事例に対する、専門家のアドバイス等も活用した適切な支援介入や課題解決に向けた支援

・警察署や精神科医療機関との連携体制の維持、向上に向けた連絡会の継続開催

●難病対策

医療依存度の高い難病患者に対する災害発生時に備えた体制整備

５　感染症対策

●高齢者施設等の社会福祉施設に対する研修会や、発生施設に対する指導・助言

（ノロウイルス、インフルエンザ、疥癬等）

●真庭地域における腸管出血性大腸菌（O-157等）、レジオネラ、マダニ等による感染症の発生に対し、発生源の追及や住民への啓発

中山間部の鹿の糞中のO-菌の井戸水等への混入の懸念

●若い世代への子宮頸がんと梅毒等性感染症等に対する正しい知識の啓発

６　健康危機管理

大規模災害時における健康危機管理や新興感染症発生時における対応の備え

●災害時対応

- 広域災害救急医療情報システム（EMIS）入力訓練
- 南海トラフ地震で発生するクラッシュシンドローム患者の推計と透析治療の配備に関する分析

●新興感染症対応

- 発生時を想定した消防署との移送訓練等

7　安全･安心な生活衛生の推進

●食品衛生関係施設への監視指導

・大型飲食店施設等に対する監視指導の実施

・衛生管理状態の確認及び改善指導

●レジオネラ症発生防止対策

・施設設備の衛生管理の指導助言

・循環式浴槽の設置施設に対する採水検査

●薬物乱用防止活動の展開、医薬品等の適正使用の推進

・若年層への啓発、薬物乱用防止教室の開催

・指定濫用防止医薬品の販売体制の監視指導